

Urine Toxic Metals (and Essential Elements)

検体作成手順—患者様向け

<検査を始める前に>

説明書をすべて読み、採取手順をよく理解してください。

この尿検査は医師の指示に沿って、24 時間もしくはそれ以下の採取時間で行います。

採取はドクターズデータ専用の同梱された容器のみ使用可能です。

魚介類はほぼ高い水銀と砒素の濃度を含みますのでアメリカでは尿検体の採取をする 1 週間前からの魚介類の食事制限が推奨されますが、普通の生活の状態において検査されても良いと思われます。採取中および 8-10 時間前からのミネラルサプリメントの服用については検査終了まで延期が望まれます。検査前の食事制限やミネラルサプリメントの服用については医師の指示に従って下さい。

また月経中の検体採取はできません(血液細胞には毒素、ミネラルが含まれるので、尿に含まれる量に加えて血液細胞内の量まで入ってしまうので精度を欠く為です。)

<キットの中身の確認>

複数時間採用用の半透明ジャグ(単発の採尿は不要)	1 個
(24 時間採用の場合は別途オレンジ色の採尿コンテナが必要)	
採用用の透明のコップ	1 個
青色ふたのついた検体用チューブ	1 本
ジッパーのついた送付用ビニール袋と吸収パッド	1 枚
申込書 - INTERNATIONAL REQUISITION FORM (尿経路排泄重金属検査)	1 枚

<発送用書類>

EMS 国際スピード郵便 の封筒	1 枚
EMS 国際スピード郵便 の送り状	1 枚
通関インボイス(COMMERCIAL INVOICE)	2 枚

◇ 不足品・不明な点があった場合、デトックスまでご連絡ください。

Tel: 03-5876-4511

◇ キットの外箱は米国ラボへ郵送する際に使用するので、捨てないでください。

<採取手順>

1. 医師が 24 時間の検体採取を指示した場合 → A へ
- 医師が時間限定の検体採取を指示した場合 → B へ
- 医師が単発の検体採取を指示した場合 → C へ

A. 24 時間の検体採取

A1. 朝起きて 1 番最初の排尿は採取しません。

2 番目に出る尿から、翌日の 1 番最初の排尿まですべての尿を採取します。

尿は常に採尿カップに採取し、オレンジの採尿コンテナに移しいれてください。24 時間の採尿が終わるまで、採尿コンテナに採尿を保管します。

A2. すべての採取が終わったら、採尿コンテナを平らな場所に置き、コンテナにある目

盛を目安にトータル量を量ります。この量は申込書への記入が必須です。

A3. 採尿が終わったら、オレンジのコンテナを最低 30 秒振り、尿を混ぜ合わせます。尿を青色ふたのついたチューブに移しいれます。チューブに貼ってあるラベルの「FILL TO LINE」にくるまで移し入れてください。ふたが開かないように固く閉めます。→2. へ

B. 6 時間の尿採取

B1. 検体を採取する時間帯の前に排尿を済ませます。指示された時間内の最初から最後まででの排尿を採取します。尿は常に採尿カップに採取し、半透明ジャグに移しいれてください。検体採取中は半透明ジャグを冷蔵して下さい。

B2. 採尿が終わったら、半透明ジャグを最低 30 秒振り、尿を混ぜ合わせます。尿を青色ふたのついたチューブに移しいれます。チューブに貼ってあるラベルの「FILL TO LINE」にくるまで移し入れてください。

ふたが開かないように固く閉めます。→2. へ

C. ランダム(単発)の採取

C1. 採尿用のカップに 1 回分の尿を採取します。

尿を青色ふたのついたチューブに移しいれます。

チューブに貼ってあるラベルの「FILL TO LINE」にくるまで移し入れてください。ふたが開かないように固く閉めます。→2. へ

2. 青色ふたのチューブに患者名をローマ字で、採取日を数字で記入します。

チューブを吸収パッドでくるみ、ビニール袋に入れます。

ビニール袋入りの検体をキットの箱に入れてください。

3. 申込書記入要綱(別紙)に沿って、申込書に記入してください。

情報が抜けている場合、検査結果が出ない場合があります。

記入漏れの無い申込書をキットの箱に入れてください。

以上で検体作成が終了しました。

<郵送方法>

ビニール袋入り検体と検査申込書を入れたキットの箱を EMS の封筒に入れて閉じます(この時、EMS 送り状とインボイスは同封しないで下さい)。

検体を送付の際は EMS の封筒(検体入り)、EMS 送り状 1 通、同封インボイスを 2 通が毎回必要です。送り状・インボイスはお送りするキットの箱の中にございます。これらをあわせて郵便局に持参か、集荷依頼をして、お渡しください。送料は¥1,400 程度かかります。

負荷後の検査には Urine Toxic Metal ではなく Urine Toxic and Essential Elements がミネラルの不足も検証できますので通常使用されます。

ご不明な点などございましたら上記デトックスまでご連絡ください。